

総合美容専門課程	科目名	保健			単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
高度総合美容学科	講座名	保健①(人体①)			担当者	川本 義規	履修区分	必修

授業の概要と方法

人体の構造・機能について学び、皮膚・毛髪などを生物科学的に理解する。
。
。クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術をするために不可欠な、皮膚・毛髪などに関する生物科学的知識を習得する。

授業の内容・計画

第 1回	概要説明	1.人体の各部の名称 2.頭部、顔部、頸部の体表解剖学	
第 2回	骨格系	1.骨の種類と構造 3.骨格系とそのはたらき	2.骨の連結
第 3回	骨格系	4.骨の保健 5.まとめ・演習問題	
第 4回	筋系	1.筋の種類と構造 3.顔面筋とその働き	2.主な骨格筋とその働き 4.理容・美容の作業と筋疲労
第 5回	筋系	5.筋系の保健 6.まとめ・演習問題	
第 6回	神経系	1.神経系の成り立ち 2.中枢神経とその働き	
第 7回	神経系	3.末梢神経とその働き 4.まとめ・演習問題	
第 8回	感覚器系	1.視角 4.味覚	2.聴覚 3.平衡感覚 5.嗅覚
第 9回	感覚器系	6.皮膚感覚 8.まとめ・演習問題	7.深部感覚と内臓感覚
第10回	循環器系	1.血液循環の仕組み 3.心臓と血管のはたらき	2.血液の循環経路 4.リンパ管系の仕組みとはたらき
第11回	循環器系	5.循環器系の保健 6.まとめ・演習問題	
第12回	呼吸器系	1.呼吸器系のあらまし 3.肺の仕組みとガス交換	2.気道
第13回	呼吸器系	4.呼吸運動 5.まとめ・演習問題	
第14回	消化器系	1.消化器系のあらまし 3.消化管のはたらき	2.消化管の仕組み 4.消化腺とその働き
第15回	消化器系	5.消化と物質代謝 7.まとめ・演習問題	6.消化器系の保健
第16回	期末試験		

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
- ・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業にて2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「保健」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

川本義規は、歯科医としての25年間にわたる経験があり、医療・保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な保健についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	保健	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年後期
高度総合美容学科	講座名	保健②(人体②)	担当者	石渡由紀子	履修区分	必修

授業の概要と方法

人体の構造・機能について学び、皮膚・毛髪などを生物科学的に理解する。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術をするために不可欠な、皮膚・毛髪などに関する生物科学的知識を習得する。

授業の内容・計画

第 1回	泌尿器系	泌尿器系の仕組み・尿の生成 泌尿器系の保健
第 2回	内分泌器系	人体とホルモン・下垂体(脳下垂体) 甲状腺と上皮小体・脾臓、副腎・精巣と卵巣
第 3回	内分泌器系	副腎・精巣と卵巣 内分泌器系の調節機構・ストレス、保健
第 4回	環境と生体 環境と生体	(生理的適応免疫的適応) (免疫的適応)
第 5回	人体の構造と機能	— 細胞と体液 — 骨格系
第 6回	人体の構造と機能	— 筋系 — 神経系
第 7回	人体の構造と機能	— 感覚器系 — 循環器系
第 8回	人体の構造と機能	— 呼吸器系 — 消化器系
第 9回	人体の構造と機能	— 泌尿器系 — 内分泌系
第10回	まとめ 演習問題	
第11回	人体の構造と機能	— 皮膚の構造
第12回	人体の構造と機能	— 皮膚の付属器官の生理機能
第13回	人体の構造と機能	— 皮膚の付属器官の保健
第14回	人体の構造と機能	— 保護と手入れ(皮膚・毛・爪) — 皮膚疾患
第15回	まとめ 演習問題	
第16回	期末試験	

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
- ・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「保健」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

石渡友紀子は、薬剤師としての20年間にわたる経験があり、保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な保健についての理解を深める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	ネイルⅢ	担当者	岡崎 蘭	履修区分	選択

授業の概要と方法

- ジェルネイルを施術するために必要な基礎的知識と技術の修得。
 プロとしてサロニークに必要な専門知識と技術の修得。
 2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

JNAジェルネイル検定初級、中級、上級 合格を目ざす。
 ジェルネイルアート、フットアートを学ぶ。

授業の内容・計画

第 1回	ジェルネイル概論 ジェルネイルの基礎知識 ジェルネイル ティアグルセッティング、ドライケア、レパレーション
第 2回	ジェルネイル ワンカラー、ジェルオフ技術
第 3回	ジェルアート ピーコック ジェルネイル初級 タイムトライアル 60分
第 4回	ジェルネイル初級 テスト 60分 ジェルデザイン カラーグラデーション、フレンチスタイル
第 5回	ジェルデザイン カラーグラデーション、フレンチスタイル
第 6回	ジェルイクステンション 2～3ミリ クリアイクステンション
第 7回	ジェルネイル中級 タイムトライアル 85分
第 8回	ジェルネイル中級 テスト 85分 ジェルイクステンション クリアスカルプチュア5ミリ～10ミリ
第 9回	ジェルイクステンション フレンチスタイル ジェルイクステンション チップオーバーレイ
第10回	ジェルイクステンション チップオーバーレイ ジェルイクステンション チップオーバーレイ デザインフラー
第11回	ジェルネイル上級 タイムトライアル 85分
第12回	ジェルネイル上級 テスト 85分 ジェルネイルアート ①
第13回	ジェルネイルアート ② ジェルネイルアート ③
第14回	フットアート① フットアート②
第15回	フットアート③ 作品制作 ネイルアート技術を用いたチップ製作
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
- ・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

教科書：「美容実習」(日本理容美容教育センター)
 参考文献：「美容技術理論」(日本理容美容教育センター)

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容師の仕事の幅を広げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	エステティック	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	エステⅢ	担当者	中務 真澄	履修区分	選択

授業の概要と方法

スキンケア・ワックスの効果を体験する
2コマ続きで、相モデルにより実習・試験を行う

講義の達成目標

ハリウッドフェイシャルワックス技術の習得
スキンケア基礎・ワックス理論の習得 ハリウッド化粧品を学ぶ
ハリウッド国際エステティック検定5級習得を目標。

授業の内容・計画

第 1回	エステティック技術理論 ワックスの効果と注意点
第 2回	準備物とワックス技術のステップ フェイスマイクのクレンジング法 ふきとり技術
第 3回	スチームタオル・ソフトチークの使い方 ワックスと血管のつながり
第 4回	ハンドワックス 手のひらのワッサージツボ
第 5回	ワッサージクリームのはし方 基本ワッサージの順序
第 6回	口角と口周りのワッサージ、頬のワッサージ ワッサージ後のケア
第 7回	蒸しタオルのかき方 酵素パックの効果と使用方法
第 8回	フェイシャルローラーの使い方 フェイシャル〜デコルテまでワッサージ(首・肩・背中)
第 9回	18番ハリウッドワッサージ 拭き取り〜スチームタオル
第10回	18番ハリウッドワッサージ 1〜5 6〜10
第11回	18番ハリウッドワッサージ 11〜15 16〜18
第12回	18番ハリウッドワッサージ 1〜18
第13回	18番ハリウッドワッサージ 1〜18
第14回	18番ハリウッドワッサージ 実技試験 25分間
第15回	脱毛ワックス技術 注意事項
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

- ・ 授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
- ・ 授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100〜90点を「5」、89〜80点を「4」、79〜70点を「3」、69〜60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッドエステティック検定2級テキスト

担当者のプロフィール

中務真澄は、12年間にわたるエステインセンとしての勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師の仕事を広げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
高度美容総合学科	講座名	・ <u>メイクⅢ</u>	担当者	津久間由美	履修区分	選択

授業の概要と方法

お客様を素顔より綺麗にメイクアップすることができ、肌の悩みや欠点をカバーし好感度のあるメイクに仕上げることができる技術を身につける。
2コマ続きで実施する。

講義の達成目標

サロニールやブライダル、成人式で実践できるように仕上げる。
メイクアップアーティスト検定3級レベルに到達する。

授業の内容・計画

第 1回	ベースメイクアップ	… いろいろな肌の質感	修正メイクアップのいろいろ
第 2回	ベースメイクアップ 目元のメイク	… スキントラナルテクニク … さまざまな目元とアイメイク	
第 3回	目元のメイク	… アイシャドウデザイン … アイシャドウデザイン、付けまつげ、アイラッシュカット	
第 4回	眉	… 眉の毛流、眉の位置、眉の色&アイブローテクニク … 眉のイメージ	
第 5回	眉 まとめ	… 眉のトリミング … ここまでの復習	
第 6回	リフト 仕上げ	… リフトの形、イメージ、描き方と実習 … チーク、ハイライト、シャドウについて	
第 7回	フルメイク	… 50分でスキンケアから仕上げまで確認チェック フルメイク40分&メイク理論学科対策	
第 8回	模擬試験 イメージメイク	… フルメイク40分&メイク学科テスト … イメージの捉え方	
第 9回	イメージメイク	… 配置の効果 … イメージメイクアップ	
第10回	ブライダルメイク	… 洋装ブライダル … 和装ブライダル	
第11回	ブライダルメイク 色彩	… デコルテ・背中・腕・手などのボディメイク … 対比の効果	
第12回	色彩	… コスチュームと照明 … メイクの色バランス	
第13回	フルメイク実習	… テーマ かっこいい	テーマ アイドル
第14回	フルメイク実習	… テーマ セクシー	テーマ キャリアウーメン
第15回	フルメイク実習	… テーマ 女優	
第16回	模擬試験	… フルメイク51分&学科模試	

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
- ・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

津久間由美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

美容総合専門課程	科目名	パーマネット	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	3年
高度美容総合学科	講座名	パーマⅠ	担当者	佐藤友彦	履修区分	選択

授業の概要と方法

パーマの基礎及び、実践的な技術を習得する
希望者による実習形式で行う。

講義の達成目標

サロニークでの施術

授業の内容・計画	
第 1回	パーマ理論① 毛髪と薬剤
第 2回	パーマ理論② ロットのサイズと形状・システムの角度と巻き収め
第 3回	毛髪診断 損傷毛・撥水毛
第 4回	巻き方パターン 巻き方の基本パターンを覚える
第 5回	巻き方パターン 巻き方の基本パターンを覚える
第 6回	ボデーパーマ(アグシステム)
第 7回	ボデーパーマ(アグシステム)
第 8回	スパイラルパーマ(毛先巻き・根本巻き・中間巻き)
第 9回	スパイラルパーマ(毛先巻き・根本巻き・中間巻き)
第 10回	ピンパーマ ピンカールの種類と分類
第 11回	ピンパーマ ピンカールの種類と分類
第 12回	ピンパーマ ピンパーマとロットの組合わせ方
第 13回	ピンパーマ ピンパーマとロットの組合わせ方
第 14回	ピンパーマ ショート・ミディアム・ピンパーマデザイン
第 15回	ピンパーマ ショート・ミディアム・ピンパーマデザイン
第 16回	実技試験
授業前の準備及び授業後の復習	
・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布 ・授業後に必要に応じて課題の指示	
成績評価方法	
授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。	
使用教材	
別途配布資料あり ウイック・ハケ・コム・スプレーヤー・クレンジング・カラー剤	
担当者のプロフィール	
佐藤友彦は、20年以上にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の国家試験合格に必要な知識及び技能を確かなものとする授業を展開する。	

美容総合専門課程	科目名	パーマネット	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	4年
高度美容総合学科	講座名	パーマⅡ	担当者	佐藤友彦	履修区分	選択

授業の概要と方法

パーマの基礎及び、実践的な技術を習得する希望者による実習形式で行う。

講義の達成目標

サロンワークでの施術

授業の内容・計画	
第 1回	ストリートパーマ ストリートパーマのプロセスと注意点
第 2回	薬剤塗布レッスン
第 3回	縮毛矯正 毛髪と薬剤・アイロン技術
第 4回	フロント・前髪のパーマテクニック
第 5回	ロングウェーブのロッド巻きパターン
第 6回	ナチュラル(クセモタッチのウイーブングスタイル)
第 7回	ナチュラル(クセモタッチのウイーブングスタイル)
第 8回	毛先パーマ 巻き髪風毛先カールパーマ
第 9回	毛先パーマ 巻き髪風毛先カールパーマ
第 10回	ボブスタイルの毛先パーマ
第 11回	ボブスタイルの毛先パーマ
第 12回	メズパーマ ボリュームアップ
第 13回	メズパーマ ボリュームアップ
第 14回	ツイストねじりを付け、ロッド巻きで作るウェーブニュアンス
第 15回	ツイストねじりを付け、ロッド巻きで作るウェーブニュアンス
第 16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
- ・授業後に必要に応じて課題の指示

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

別途配布資料あり

ウイック・ハケ・キュー・スプレーヤー・クレンジング・カラー剤

担当者のプロフィール

佐藤友彦は、20年以上にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師の国家試験合格に必要な知識及び技能を確かなものとする授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	保健	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	1年前期
総合美容学科	講座名	保健①(人体①)	担当者	川本 義規	履修区分	必修

授業の概要と方法

人体の構造・機能について学び、皮膚・毛髪などを生物科学的に理解する。
 クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術をするために不可欠な、皮膚・毛髪などに関する生物科学的知識を習得する。

授業の内容・計画	
第 1回	概要説明 1.人体の各部の名称 2.頭部、顔部、頸部の体表解剖学
第 2回	骨格系 1.骨の種類と構造 2.骨の連結 3.骨格器系とそのはたらき
第 3回	骨格系 4.骨の保健 5.まとめ・演習問題
第 4回	筋系 1.筋の種類と構造 2.主な骨格筋とその働き 3.顔面筋とその働き 4.理容・美容の作業と筋疲労
第 5回	筋系 5.筋系の保健 6.まとめ・演習問題
第 6回	神経系 1.神経系の成り立ち 2.中枢神経とその働き
第 7回	神経系 3.末梢神経とその働き 4.まとめ・演習問題
第 8回	感覚器系 1.視角 2.聴覚 3.平衡感覚 4.味覚 5.嗅覚
第 9回	感覚器系 6.皮膚感覚 7.深部感覚と内臓感覚 8.まとめ・演習問題
第10回	循環器系 1.血液循環の仕組み 2.血液の循環経路 3.心臓と血管のはたらき 4.リンパ管系の仕組みとはたらき
第11回	循環器系 5.循環器系の保健 6.まとめ・演習問題
第12回	呼吸器系 1.呼吸器系のあらまし 2.気道 3.肺の仕組みとガス交換
第13回	呼吸器系 4.呼吸運動 5.まとめ・演習問題
第14回	消化器系 1.消化器系のあらまし 2.消化管の仕組み 3.消化管のはたらき 4.消化腺とその働き
第15回	消化器系 5.消化と物質代謝 6.消化器系の保健 7.まとめ・演習問題
第16回	期末試験

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
- ・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「保健」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

川本義規は、歯科医としての25年間にわたる経験があり、医療・保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な保健についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	保健	単位・時間数	1単位・30時間	履修対象	2年
総合美容学科	講座名	保健③(皮膚)	担当者	新田 恵子	履修区分	必修

授業の概要と方法

人体の構造・機能について学び、皮膚・毛髪などを生物科学的に理解する。
クラス単位での講義形式。

講義の達成目標

美容の施術をするために不可欠な、皮膚・毛髪などに関する生物科学的知識を習得する。

授業の内容・計画	
第 1回	皮膚の構造(表皮・真皮・皮下組織) 皮膚の部位並びに人種差
第 2回	皮膚付属器官(毛の構造、成長周期・立毛筋・脂腺・汗腺・爪)
第 3回	皮膚の循環器系と神経系
第 4回	前回までの復習、確認 演習問題
第 5回	皮膚の生理機能(対外保護作用・体温調節作用・知覚作用)
第 6回	皮膚の保健(皮膚と全身状態・精神・栄養・嗜好品) 皮膚と内臓(体内病変)
第 7回	皮膚の保健(水分と脂の状態・乾皮・脂性の肌・皮膚とホルモンの関係)
第 8回	前回までの復習、確認 演習問題
第 9回	皮膚の保健(水分と脂の状態・乾皮・脂性の肌・皮膚とホルモンの関係)
第10回	皮膚の保護とお手入れ(紫外線・PH) 毛の保護とお手入れ
第11回	皮膚疾患(発疹の種類・皮膚炎の種類)
第12回	前回までの復習、確認 演習問題
第13回	皮膚疾患(寒冷・温熱による疾患・色素異常・分泌異常)
第14回	皮膚疾患(化膿菌・ウイルス等による疾患・真菌・腫瘍)
第15回	前回までの復習、確認 演習問題
第16回	前回までの復習、確認 演習問題

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の準備学習の指示及び必要に応じての資料配布
- ・授業後に必要に応じて課題を指示

成績評価方法

授業に2/3以上出席した者を対象に、筆記試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

「保健」(日本理容美容教育センター)

担当者プロフィール

新田恵子は、薬剤師としての7年間にわたる経験があり、保健衛生の実務者として、美容業に不可欠な保健についての理解を深める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	メイクアップ	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	メイクⅢ	担当者	津久間由美	履修区分	選択

授業の概要と方法

お客様を素顔より綺麗にメイクアップすることができ、肌の悩みや欠点をカバーし好感度のあるメイクに仕上げることができる技術を身につける。
2コマ連続の形で実施する。

講義の達成目標

サロワークやブライダル、成人式で実践できるように仕上げる。
メイクアップアーティスト検定3級レベルに到達する。

授業の内容・計画

第1回	ベースメイクアップ	… いろいろな肌の質感 … 修正メイクアップのいろいろ
第2回	ベースメイクアップ 目元のメイク	… スキントラルテクニク … さまざまな目元とアイメイク
第3回	目元のメイク	… アイシャドウデザイン … アイシャドウデザイン、付けまつげ、アイラッシュカット
第4回	眉	… 眉の毛流、眉の位置、眉の色&アイブローテクニク … 眉のイメージ
第5回	眉 まとめ	… 眉のトリミング … ここまでの復習
第6回	リップ 仕上げ	… リップの形、イメージ、描き方と実習 … チーク、ハイライト、シャドウについて
第7回	フルメイク	… 50分でスキンケアから仕上げまで確認チェック … フルメイク40分&メイク理論学科対策
第8回	模擬試験 イメージメイク	… フルメイク40分&メイク学科テスト … イメージの捉え方
第9回	イメージメイク	… 配置の効果 … イメージメイクアップ
第10回	ブライダルメイク	… 洋装ブライダル … 和装ブライダル
第11回	ブライダルメイク 色彩	… デコルテ・背中・腕・手などのボディメイク … 対比の効果
第12回	色彩	… コスチュームと照明 … メイクの色バランス
第13回	フルメイク実習	… テーマ かっこいい … テーマ アイドル
第14回	フルメイク実習	… テーマ セクシー … テーマ キャリアウーメン
第15回	フルメイク実習	… テーマ 女優
第16回	模擬試験	… フルメイク51分&学科模試

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
- ・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教

ハリウッドメイクアップ検定2級テキスト

担当者のプロフィール

津久間由美は、12年間にわたる美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者として、美容師に不可欠なメイクアップの技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	ネイル	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	ネイルⅢ	担当者	岡崎 蘭	履修区分	選択

授業の概要と方法

ジェルネイルを施術するために必要な基礎的知識と技術の修得。
 プロとしてサロンワークに必要な専門知識と技術の修得。
 2コマ続きの実習形式。

講義の達成目標

JNAジェルネイル検定初級、中級、上級 合格を目ざす。
 ジェルネイルアート、フットアートを学ぶ。

授業の内容・計画

第 1回	ジェルネイル概論 ジェルネイルの基礎知識 ジェルネイル テイザルセッティング、ドライケア、レベルーション ジェルネイル ワンカラー、ジェルオフ技術
第 2回	
第 3回	ジェルアート ピーコック ジェルネイル初級 タイムトライアル 60分
第 4回	ジェルネイル初級 テスト 60分 ジェルデザイン カラーグラデーション、フレンチスタイル ジェルデザイン カラーグラデーション、フレンチスタイル
第 5回	
第 6回	ジェルイクステンション 2～3ミリ クリアイクステンション
第 7回	ジェルネイル中級 タイムトライアル 85分
第 8回	ジェルネイル中級 テスト 85分 ジェルイクステンション クリアスカルプチュア5ミリ～10ミリ
第 9回	ジェルイクステンション フレンチスタイル ジェルイクステンション チップオーバーレイ ジェルイクステンション チップオーバーレイ デザインフラー
第10回	ジェルイクステンション チップオーバーレイ デザインフラー
第11回	ジェルネイル上級 タイムトライアル 85分
第12回	ジェルネイル上級 テスト 85分 ジェルネイルアート ①
第13回	ジェルネイルアート ② ジェルネイルアート ③
第14回	フットアート① フットアート②
第15回	フットアート③ 作品制作 ネイルアート技術を用いたチップ製作
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

- ・授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
- ・授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

教科書：「美容実習」(日本理容美容教育センター)

参考文献：「日本理美容教育センター 美容技術理論教科書

担当者のプロフィール

岡崎蘭は、3年間の美容院での勤務経験があり、美容関連の実務者としての観点から、美容師の仕事の幅を広げるネイルについての技能を高める授業を展開する。

総合美容専門課程	科目名	エステティック	単位・時間数	2単位・60時間	履修対象	2年後期
総合美容学科	講座名	エステⅢ	担当者	中務 真澄	履修区分	選択

授業の概要と方法

- ・ スキンケア・ワックスの効果を体験する
- ・ 相モデルで実習・試験を行う
- ・ 2コマ連続の形で実施する。

講義の達成目標

ハリウッドフェイシャルワックス技術の習得
 スキンケア基礎・ワックス理論の習得 ハリウッド化粧品を学ぶ
 ハリウッド国際エステティック検定5級習得を目標。

授業の内容・計画

第 1回	エステティック技術理論 ワックスの効果と注意点
第 2回	準備物とワックス技術のステップ フェイスマイクのクレンジング法 ふきとり技術
第 3回	スチームタオル・ソフトチークの使い方 ワックスと血管のつながり
第 4回	ハンドワックス 手のひらのワックスジッポ
第 5回	ワッサージクリームのはし方 基本ワッサージの順序
第 6回	口角と口周りのワッサージ、頬のワッサージ ワッサージ後のケア
第 7回	蒸しタオルのかけ方 酵素パックの効果と使用方法
第 8回	フェイシャルローラーの使い方 フェイシャル～デコルテまでワッサージ(首・肩・背中)
第 9回	18番ハリウッドワッサージ 拭き取り～スチームタオル
第10回	18番ハリウッドワッサージ 1～5 6～10
第11回	18番ハリウッドワッサージ 11～15 16～18
第12回	18番ハリウッドワッサージ 1～18
第13回	18番ハリウッドワッサージ 1～18
第14回	18番ハリウッドワッサージ 実技試験 25分間
第15回	脱毛ワックス技術 注意事項
第16回	実技試験

授業前の準備及び授業後の復習

- ・ 授業前の予習、準備学習の指示及び必要に応じて資料配布(必須)
- ・ 授業後の必要に応じて課題を課す。

成績評価方法

授業に4/5以上出席した者を対象に、実技試験の得点(70点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15点満点)の総合点について、100～90点を「5」、89～80点を「4」、79～70点を「3」、69～60点を「2」、59点以下を「1」とする。

使用教材

ハリウッドエステティック検定2級テキスト

担当者のプロフィール

中務真澄は、12年間にわたるエステティシャンとしての勤務経験があり、美容関連の実務者としての、美容師の仕事の幅を広げるエステティックについての技能を高める授業を展開する。